

世羅町におけるコーディネーター設置の働きかけ

世羅町社会福祉協議会

第1層生活支援コーディネーター

第1層生活支援コーディネーター

徳永

森政

直起

祐美恵



目次

1. 世羅町の紹介
2. 世羅町における生活支援体制整備事業の活動
3. 第2層生活支援コーディネーターの役割と活動事例
4. まとめ

1. 世羅町の紹介（全体）

世羅町の特徴

広島県の中東部に位置している中山間地域。
平成16年に甲山町、世羅町、世羅西町の三町が合併して「世羅町」に！！世羅町は、
駅伝の強豪校で有名な世羅高校がある町です。



基礎情報

（令和4年3月末時点）

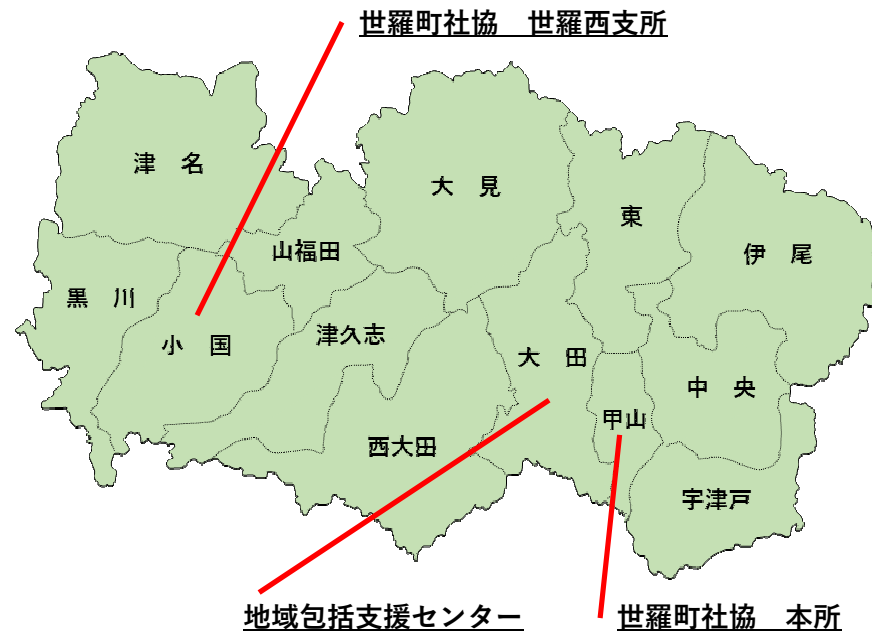
人口	15,303人
世帯数	6,840世帯
高齢化率	42.19%
0~14歳	1,539人
15~64歳	7,307人
65歳以上	6,457人

（令和4年5月末時点）

一人暮らし高齢者世帯	668世帯
高齢者のみ世帯	1,114世帯

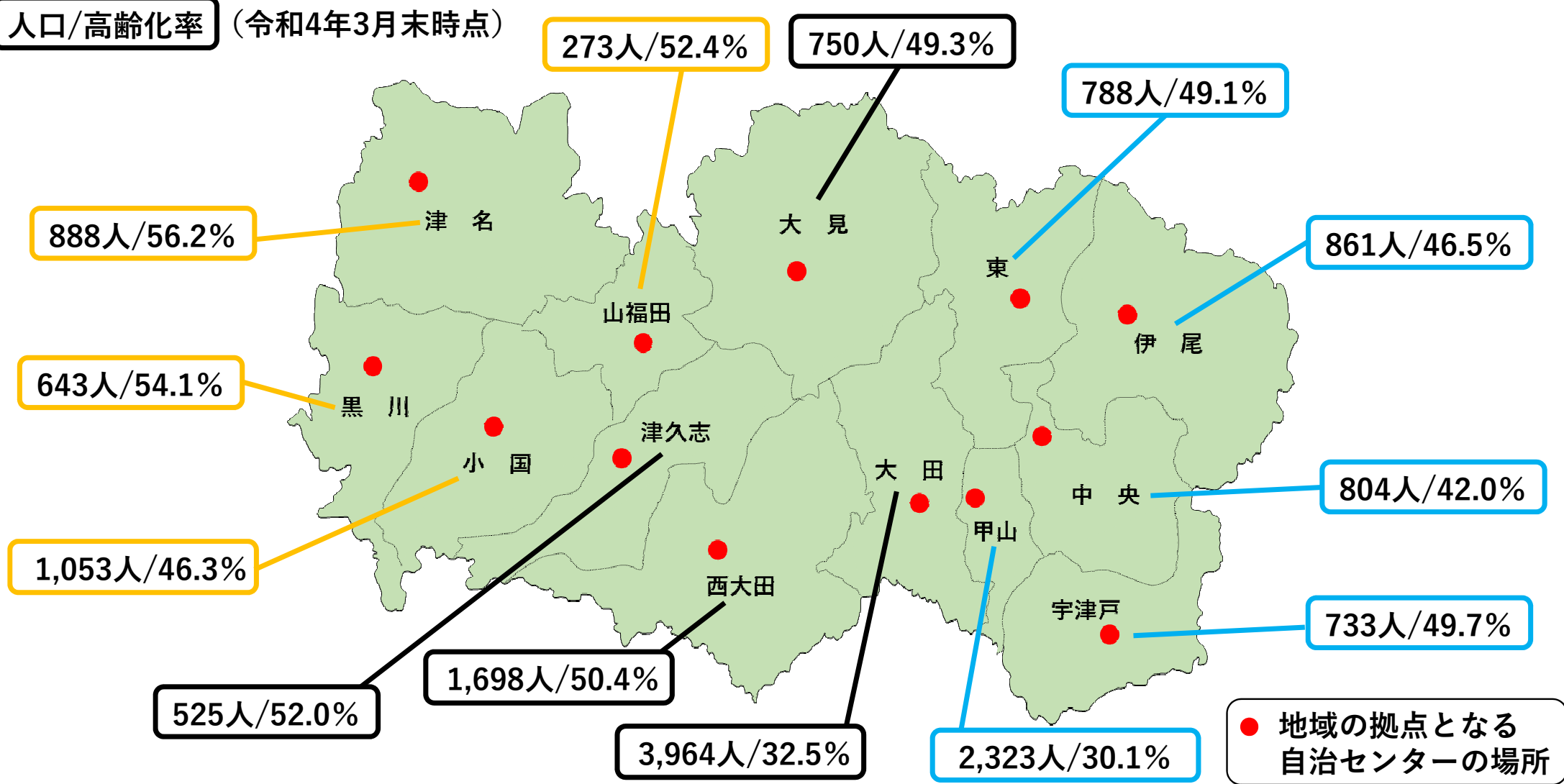
28.9%（令和3年10月1日）
令和4年版高齢社会白書参照

65~74歳	2,829人
75歳以上	3,628人



1. 世羅町の紹介（13地域ごと）

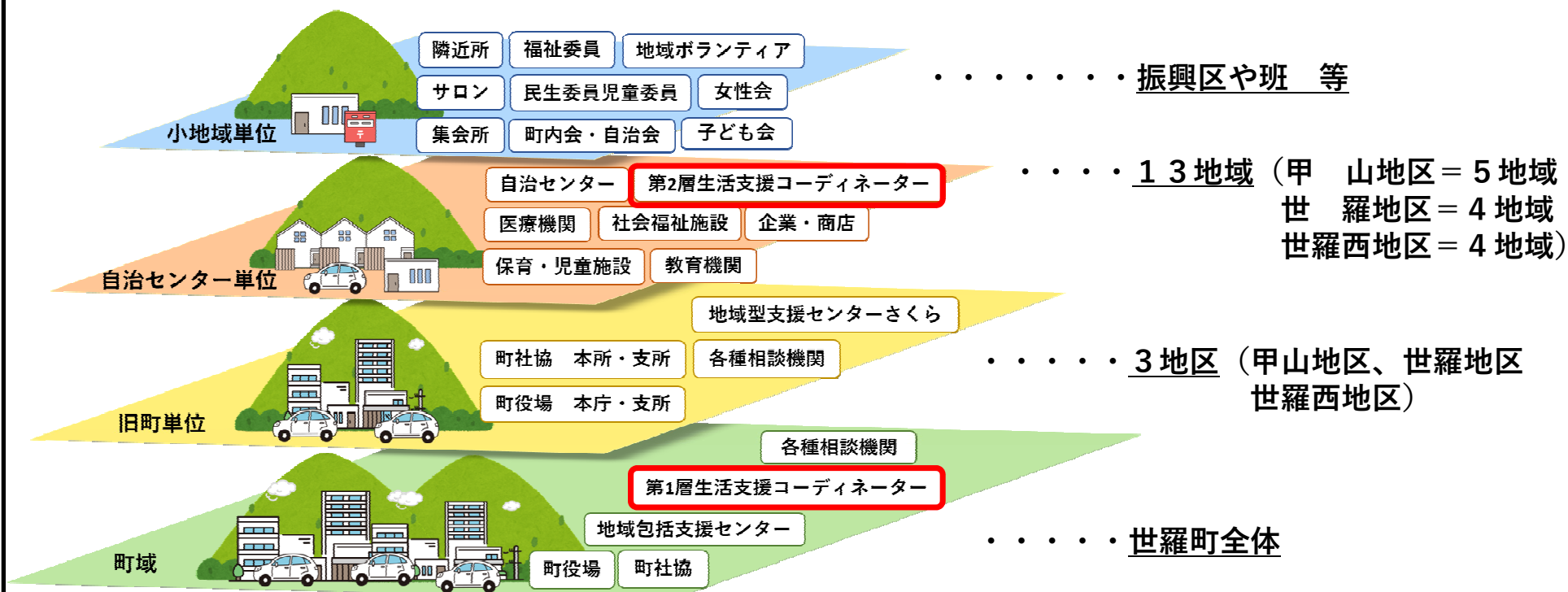
人口/高齢化率（令和4年3月末時点）



1. 世羅町の紹介（生活圏域）



4つの生活圏域に分けて、地域づくりを推進しています。
旧町単位で地区担当制を設け、それぞれの地区や地域の特性に合った活動や訪問を行っています。



2. 世羅町における生活支援体制整備事業の活動

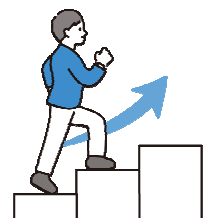
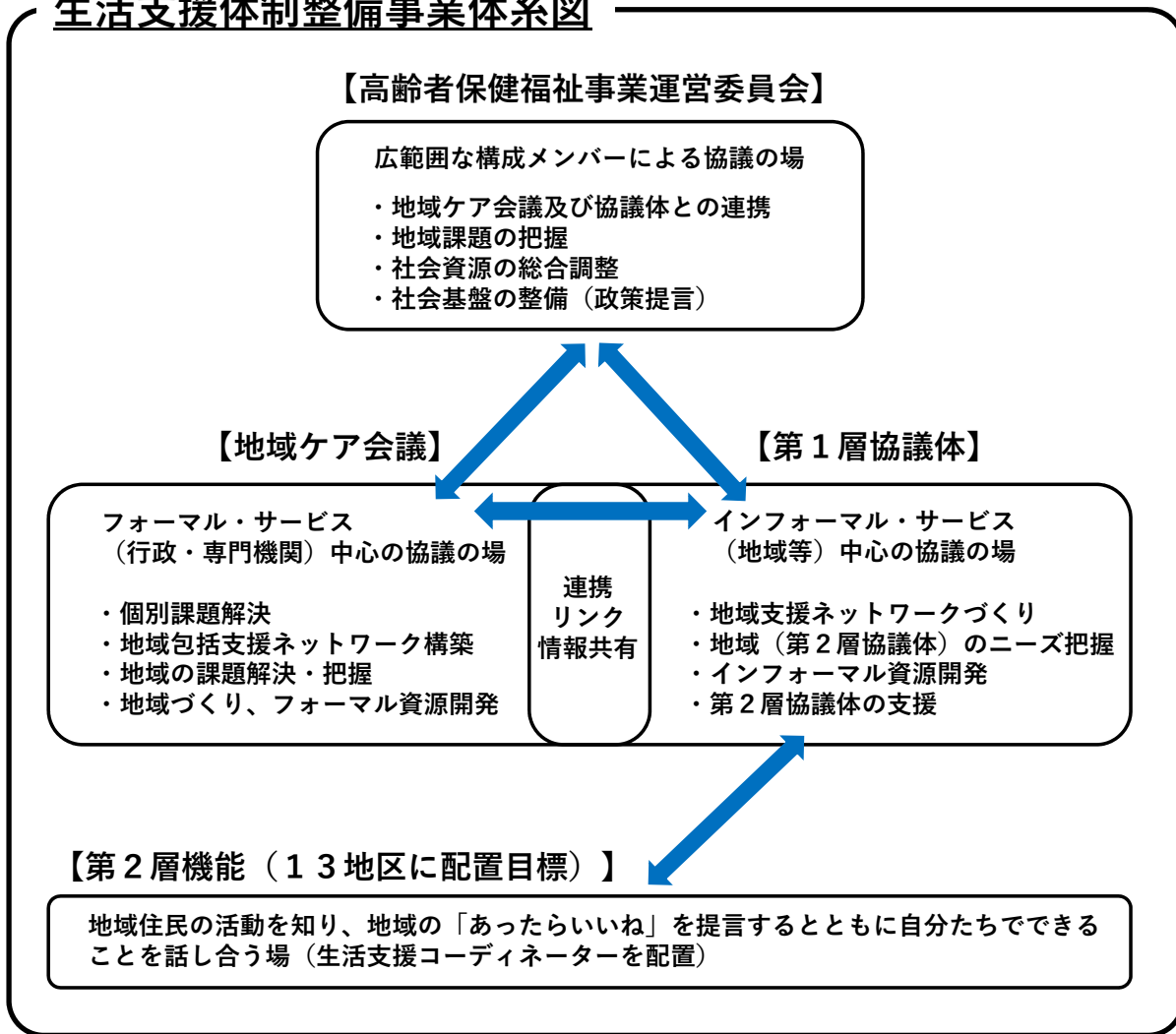
主な生活支援体制整備事業の取り組み内容

取り組み年度	実施主体	内 容	第1層&第2層の配置
平成29年度	世羅町	<ul style="list-style-type: none"> ■第2層SC配置に向けた土台作り <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（講演会）の開催、視察研修 ・各自治組織への訪問 	第1層SC：1名（町職員）
平成30年度	世羅町	<ul style="list-style-type: none"> ■第2層SC配置に向けた土台作り 	第1層SC：1名（町職員）
令和元年度	世羅町	<ul style="list-style-type: none"> ■第2層SC配置に向けた土台作り ■暮らしの便利帳作成（商店等の連絡先が掲載） 	第1層SC：1名（町職員）
令和2年度	世羅町	<ul style="list-style-type: none"> ■第2層SC配置に向けた土台作り ■西地域の生活を考える会（話し合いの場）の起ち上げ <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状把握（アンケート調査→データ化） ・方向性の設定（移動手段について協議決定） 	第1層SC：1名（町職員） 第2層SC：1名（地域住民）
令和3年度	世羅町	<ul style="list-style-type: none"> ■第2層SCの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度の訪問及び連携会議の開催 ■西地域の生活を考える会の開催 ■協議体の仕組み作り（協議体） ■第2層SC未配置地域へのアプローチ 	第1層SC：1名（町職員） 第2層SC：5名（地域住民） 【新規：4名】
令和4年度 （途中）	世羅町社協	<ul style="list-style-type: none"> ■第2層SCの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・月1回井戸端会議の開催支援 ■西地域の生活を考える会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区での移動支援サービス開始 ■第2層SC未配置地域へのアプローチ 	第1層SC：2名（社協職員） 第2層SC：7名（地域住民） 【新規：2名】



2. 世羅町における生活支援体制整備事業の活動

生活支援体制整備事業体系図



力を入れて取り組んでいる部分

地域住民が担う

【第2層機能（13地区に配置目標）】
の構築に向けて



配置することを強制せず、
「地域にとって配置することが必要だ」
と思ってもらうにはどうすればいいか。

3. 第2層生活支援コーディネーターの役割と活動事例

第2層生活支援コーディネーターの役割

生活支援コーディネーター(生活支援員/福祉支援員)って?

住民同士が支え合う仕組みづくりを支援するのが生活支援員(コーディネーター/福祉支援員)です。

主には、「地域で暮らす人」と「支援する人やサービス」をつなぐことが役割です。

生活支援コーディネーター(生活支援員/福祉支援員)は、こんなことに取り組みます。

※地域性によって取り組み方は異なります。

その①
訪問での生活状況の把握
自宅訪問やサロンなどの集まりへ参加して、直接「声」を聴きます。

その②
地域の情報の把握と発信
生活ニーズや地域の取り組みなど共有できるように話す場づくりを支援します。

その③
地域の元気を支える仕組みづくり
みんなで必要な支援を考え、支え合う仕組みづくりを支援します。

地域によって第2層生活支援コーディネーターの名称が異なります。

- 生活支援員(4ヶ所)
- 地域福祉コーディネーター(1ヶ所)
- 福祉支援員(1ヶ所)
- 生活支援コーディネーター(1ヶ所)

**地域の人に
知ってもらう工夫!!**

勤務先：自治センター(各自治組織の事務局)

→地域の最前線で勤務されているため、地域の情報把握や住民が気軽に相談できやすいです。

主な対象者：一人暮らし高齢者、高齢者世帯

→世羅町は高齢化率が高い地域です。
まずは、高齢部分に視点を当てた取り組みをします。

地域の“自治会だより”や“せら社協だより”で顔写真付きのインタビュー形式で記事を掲載しています。

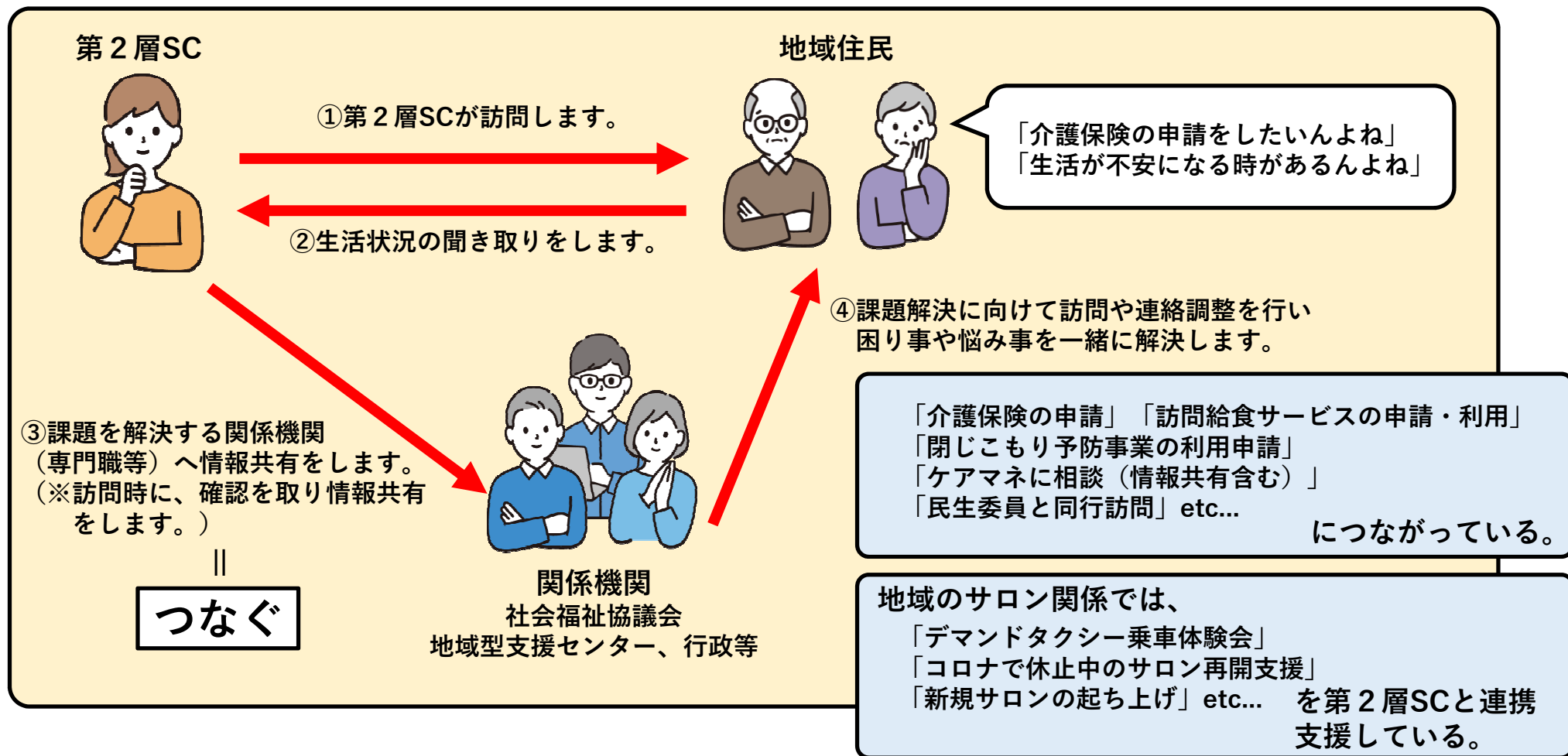
【社協だより】No.78号から掲載

普段は、第2層生活支援コーディネーターではなく

「生活支援員」と呼ぶことが多いです。

3. 第2層生活支援コーディネーターの役割と活動事例

活動の様子（訪問時の例）



4. まとめ



こんなところがよかった！

- ①地域の細かいところまでキャッチできる
- ②一緒になって地域を支えることができる
- ③それぞれの地域に合わせた活動ができる
etc . . .



まだまだここを伸ばしていきたい！

- ①まだ知らない人にこの活動を知ってもらいたい
- ②稼働する新しい仕組み作り
- ③地域に存在する支え合い活動を一緒に深める
etc . . .

第1層生活支援コーディネーターとしての気持ち . . .

地域に第2層生活支援コーディネーターを配置するまでに、世羅町では4年かかりました。しかし、1つの出来事（地域づくり研修会後の西地域の生活を考える会の起ち上げ）で世羅町的生活支援体制整備事業は大きく変わり、ようやく歯車が回りだしたところです。

「社会福祉協議会や行政に言われたから配置する」ではなく、「地域で必要だと感じ、必要だから配置したい」と感じられるようになったのが1番の大きなポイントだと感じます。

最初は、雲をつかむようなところから始まったものが、今では「地域からこの声が挙がっている。こんなことに取り組んでみたい！」と、第2層生活支援コーディネーターが自ら話されています。

この地域に第2層生活支援コーディネーターを配置するシステムを活かしながら、協力・連携して地域づくりや支え合いの仕組み作りを推進していきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました